

## <学校法人佐久学園 佐久大学信州短期大学部 様>

上映日:2018/02/20(火) 場所:学校法人佐久学園佐久大学(長野県佐久市)



受付の様子



会場となった佐久大学

### 学生が映画をきっかけに、介護に携わる専門職として誇りと意欲を持ってくれました

#### ●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

当短期大学福祉学科は、平成24年より県内の福祉関係者と、介護人材育成・介護環境改善を目的に「信州介護学研究会」を開催しています。平成29年度研究会では、本学盛岡正博理事長が「ケアニン」サポーターとして協力させて頂いたことをきっかけに、映画のモデルとなった加藤忠相氏をお迎えし、講演会を開催致しました。講演後参加者から「介護にやりがいを感じた」「介護って素晴らしい」といった意見が多く寄せられました。そこで今回2年間の履修期間を終了し、介護現場に巣立っていく学生の応援メッセージになればと考え、上映会を企画致しました。

#### ●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

佐久大学信州短期大学部教職員で構成される、社会連携委員会及び教務課です。

#### ●資金はどのように捻出しましたか？

佐久学園佐久大学信州短期大学部予算より捻出いたしました。

#### ●地域へどのように告知をしましたか？

今回の上映は、福祉学科1年・2年生及び教職員、施設関係者(介護実習施設の職員)の皆様を対象としました。学内へは授業内で配布物を用いて周知、施設関係者へはチラシ郵送にてご案内をいたしました。

#### ●上映会当日の様子や、上映会開催の感想を教えてください。

学生からは「映画のような施設で働きたい、なければ創りたい」「周辺に映画のような施設はありますか?」と言った声が聞かれ、施設関係者からは「すばらしい映画をありがとう」と感謝の言葉を頂きました。さらに今回参加できなかった方から、是非また上映してほしいという希望が寄せられています。

上映後「泣きそうになった」「3回泣いた」「泣きっぱなしだった」と、普段と違った学生の姿を見ることが出来ました。

またほとんどの学生が、介護にやりがいを感じたと述べており、嬉しく感じました。映画をきっかけに介護に携わる専門職として、誇りと意欲を持ってくれたことに、教職員一同感謝しております。

私たち教職員一同も、介護福祉士を育成する意義について、改めてその責務を感じました。

#### ●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

映画を通して介護の素晴らしさが伝わる内容だと思います。是非多くの皆様にご覧いただきたいと思います。

ご担当者:  
社会連携委員会 菊池 小百合さん